

経営比較分析表

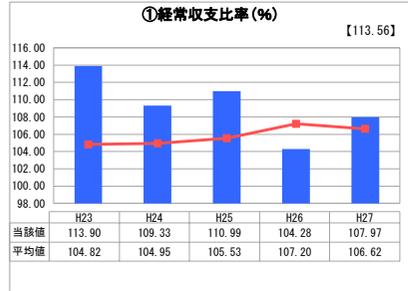
岐阜県 富加町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A8
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	91.38	99.17	3,661

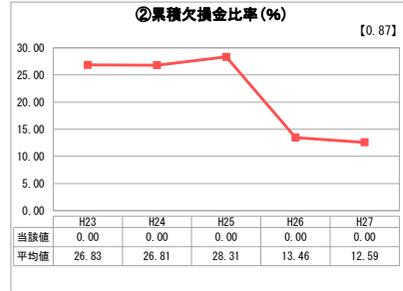
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,720	16.82	340.07
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
5,637	10.25	549.95

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

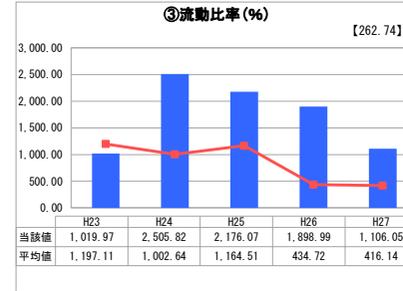
1. 経営の健全性・効率性



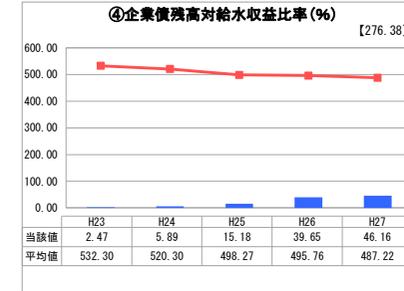
「経常損益」



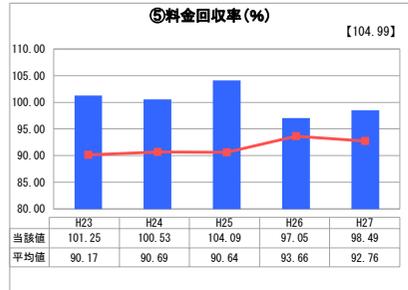
「累積欠損」



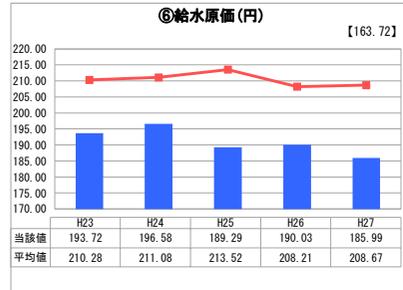
「支払能力」



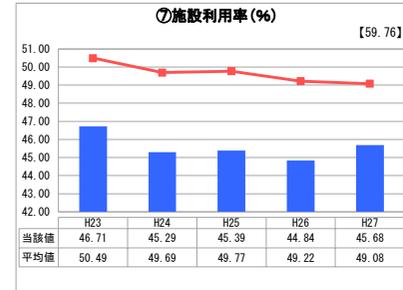
「債務残高」



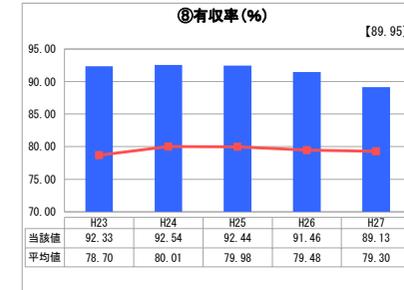
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

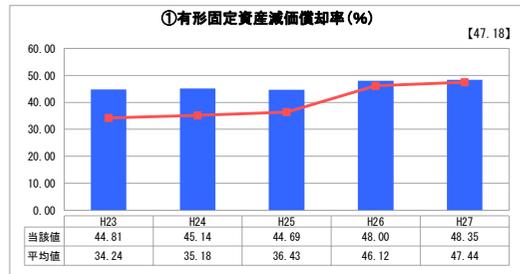


「施設の効率性」

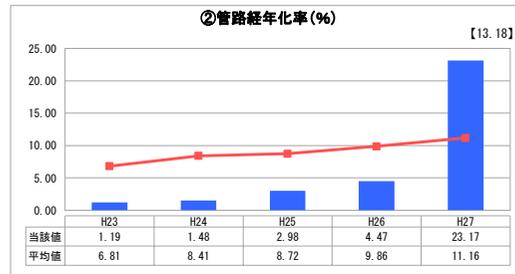


「供給した配水量の効率性」

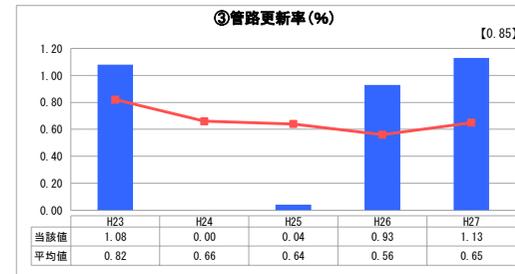
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

類似団体との比較では、特に問題のある状況ではないが、経常収支比率が高く、企業債残高対給水収益比率が低いといえる。
経常経費の削減と、施設更新等に掛かる経費の財源配分の適正化に努める。

2. 老朽化の状況について

水道事業認可直後である昭和50～51年に布設した配水管を現在も使用しており、それらが40年を経過することから、管路経年率は急激に高くなっている。
現在策定中の水道ビジョンにより管路更新の優先順位の位置づけをしたうえで、計画的な管路更新に努める。

全体総括

料金回収率、給水原価、有収率については、類似団体と比較して良好であるといえるが、料金回収率が100%を下回っているため、料金の適切性について検討が必要である。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。